

日本歯科大学附属病院 臨床研修プログラム 小児歯科



医局員と設備

- ・常勤: 9名/非常勤: 7名/レジデント: 6名(1年3名、2年3名)
(小児歯科専門医指導医3名/障害者歯科学会指導医1名/小児歯科専門医6名/障害者歯科認定医8名)
- ・ユニット: 11台(個室4台)

診療対象

- ・0歳～15歳までの小児全般
- ・通常の歯科診療が困難な小児, 障害児, 者
- ・全身疾患を有する小児

診療内容

- ・う蝕処置
- ・う蝕予防処置
- ・咬合誘導
- ・歯の外傷
- ・小手術(過剰歯抜去・小帯切除)
- ・全身麻酔下集中治療
- ・定期健診
- ・訪問診療
- ・障害児・者歯科診療



研修目標

一般目標(GIO)

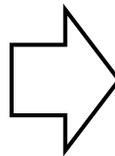
小児患者に対して適切で安全な歯科医療を行う為に、成長・発達を考慮し、基本的な治療法や治療計画の立案をするための基本的な技能・態度・知識を習得する。

行動目標(SBOs)

- 1) 小児患者と保護者に対し、適切で十分な医療情報を聴取する。
- 2) 基本的な診察・検査を実施し、得られた情報を基に診断する。
- 3) 小児・障害児(者)に対する歯科的対応法および歯科治療法について理解する。
- 4) 小児および障害者のう蝕や歯周病の予防処置を選択し実施する。
- 5) 口腔機能発達不全症の評価基準を理解する。
- 6) 小児期の外傷歯(歯の外傷)における対応および治療法について理解する。
- 7) 咬合誘導を行うために必要な基本的な知識を習得する。



外傷による側方脱臼



治療終了後

小児歯科に対する専門性のニーズ

少子高齢化、齲蝕減少傾向ですが・・・

- ・保護者の子どもへの関心(う蝕予防・不正咬合・食育etc)が増大
- ・う蝕が重症化する子ども、格差が一定数見受けられる
- ・新生児医療発展に伴う重度心身障害児の寿命延長



当科来院患者は増加傾向



小児歯科ができる歯科医師のニーズは高まっています!!

研修終了後、当科レジデント制度では、

小児歯科専門医、障害者歯科専門医取得の積極的なサポートをしています!

小児歯科専門医取得者:2020年度2名, 2019年度3名

障害者歯科認定医取得者:2020年度5名, 2019年度2名